



中津江

Nakatsue



話も弾む「野菜市」!

12月22日、野菜の販売会「野菜市」が開催された。野菜づくりに励む農家と、おいしい地元野菜を求める住民をつなぐ取組みとして、集落支援員の発案で10月にスタート。人々が多く集うむらづくり役場の軒を借りて開催した。集まった人たちは、地域おこし協力隊が提供する温かいコーヒーを片手に会話も弾み、野菜選びや交流を楽しんでいた。



現場で防災を学ぶ

11月27日、津江中学校の生徒29人が、令和2年7月豪雨の災害現場でフィールドワークを行った。これは、地元住民や中津江公民館、関係企業の協力のもと実施。土砂崩れや道路の陥没現場を目の当たりにした生徒たちは被害の大きさに驚いていた。災害の恐ろしさを実際に感じるとともに、災害を忘れず今後も防災に努める大切さを学んでいた。

大山

Oyama



知っていますか? テンポコナシ

小五馬天満宮の一角にテンポコナシという木がある。正式名称はケンポナシ(玄圃梨)といい、地域によって様々な呼称がある。秋になると実の根元が膨らみ梨のような甘い味がする。以前は近所の子供たちのおやつ代わりとして親しまれていた。幹周が約3m、樹高は20mと大きく、現在は市の特別保存樹に指定され、大切に管理されている。



みんなで楽しいウォーキング

11月29日、「第3回大山ふれあいウォーキング」が開催された。このイベントは子供からお年寄りまで幅広い世代に健康づくりを楽しんでもらえるようにと大山体育協会の主催で毎年行われている。この日は107人の参加者が集まり、4kmと7kmのコースに分かれて歩いた。参加者は「日頃歩かないので、良い運動になった」と楽しい1日を過ごしていた。



日田

Hita

TOWN TOPICS IN HITA

まちの話題



ひたジビエレシピグランプリ開催!

12月19日、昭和学園高校で第4回高校生「ひたジビエ レシピグランプリ」が開催された。この大会は、高校生にオリジナルのジビエ料理を創作してもらうことで「ひたジビエ」をPRするもの。4チームが日田特産野菜や食品ロス削減にこだわった料理等で競い合い、グランプリには色彩がよく、食欲をそそるタコス料理の「日田コス」が選ばれた。



日田ならではのおもてなし

12月16日から23日の間、男子7人制ラグビー日本代表強化合宿が実施された。報道関係者に練習風景が公開された17日、市長から激励の言葉と日田梨(新高)が送られた。また、選手たちは天ヶ瀬温泉から持ってきた「移動式足湯」を体験。「温かくて気持ちがいい!」「他では体験できない!」と足湯を満喫していた。



住みたい田舎ベストランキング第2位!

月刊誌「宝島社『田舎暮らしの本』」の企画「2021年版住みたい田舎ベストランキング」において、日田市が小さな市部門(人口10万人未満の269自治体中)で総合2位となった。子育て世代からシニアまで幅広い層を支援する制度が評価された。今後もランクアップを目指し、移住・定住につながるように切れ目のないサポートを続けていく。



ウッドデザイン賞2020受賞

ウッドデザイン賞は、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰するもの。6回目の開催を迎える今年、応募総数432点の中から、「(有)高村木材」と「日田木レンジャー」の2者が受賞した。日田木レンジャーの皆さんは「この活動を通して、木の良さを知れたし、知ってもらえた。とっても楽しかったです」と笑顔で話していた。